

## 加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議について（概要報告）

### 1 目的

本市におけるまち・ひと・しごと創生を効果的かつ効率的に推進するために、総合的かつ専門的な見地から意見を聴取する。

### 2 日時及び場所

日時：令和4年7月22日（金） 10時00分～11時20分

場所：加古川市役所 南館（旧勤労会館） 301会議室

### 3 出席者

委員13名中、11名出席

### 4 議題及び内容

#### （1）第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る効果検証について

第2期総合戦略に掲げる各指標の令和3年度の実績値とともに、地方創生に係る交付金等の活用状況を報告。

#### （2）第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定案について

国の基本方針を踏まえて、本市の総合戦略に環境分野に係る具体的な施策及び関連するKPIを新たに追加した改定案を提示し、意見を聴取。

### 5 委員の意見等

#### （1）第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る効果検証について

##### （基本目標1 “ひと”）

- ・若い世代の転出超過数の減少傾向については、市の政策のほか、大阪や東京への就職が難しくなっていることも要因の一つとして考えられる。
- ・かこてらすは屋内外で遊べる施設で、市内外問わず誰でも利用できるだけでなく、登録不要かつ無料で利用できる点はとても良い。このような子育て世代が遊びに行きやすい施設が増えれば良いと思う。
- ・合計特殊出生率については下降傾向が見込まれるが、上昇傾向の市もあるため、そうした自治体の施策等を分析し、分析結果を活用してもらいたい。
- ・少子化については若年者の資本蓄積が関係し、子育て施策の無償化を実施しても貯金に回るだけの場合も考えられる。このことから、行政がどこまで無償化を行うのかは、近隣市だけではなく広いレベルで考えてもいい課題だと思う。

##### （基本目標2 “しごと”）

- ・起業創業件数が目標値に近い数字で推移している点は評価できる。
- ・企業誘致においては交通関係がポイントである。
- ・人口増加を図るためには若年者に地元企業へ就職してもらうことが重要である。
- ・就職活動についてはオンライン化など多様化しており、合同就職面接会等の参加者数が低調であることにも影響していることが考えられる。
- ・若くして起業したい人や起業する人が多くいる中、上手く起業できない方もいるため、起業に関する学びの機会を作ることが必要である。
- ・起業支援の中でも特に女性起業家の育成は重要だと思う。園田学園が実施する女性起業家をめざすきっかけづくりは参考になる取組だと思う。
- ・市内で1,000～3,000坪程度の土地を探している事業者が多くいることから、企業の期待

に応えられるよう整備を進めていくことができれば、企業を誘致できる可能性はある。

- ・地元企業で優良企業は多くあるため、行政や金融機関がサポートしつつ上手くアピールすることが重要である。
- ・東京ではコワーキングスペースを活用し、人との繋がりから情報交換を行い、起業する方もいる。このことを参考に、駅周辺にコワーキングスペースなどを作り、スタートアップに取り組む企業を誘致することも今後検討できるのではないか。
- ・コワーキングスペースの活用においては、仲間がいることが重要だと思うが、そこに行政が関わることは難しいと思う。

#### (基本目標3 “まち”)

- ・加古川河川敷を活用した取組については、これまで国が管理する河川として活用が難しかった中、その加古川を活かすだけでなく、市民の立場から取組を考えられるようにしたことは非常に素晴らしいと思う。
- ・加古川駅から加古川河川敷までの動線において、道路の整備やにぎわいを創出する仕掛けづくりが今後重要である。
- ・坂が少ない本市の特徴を生かして、レンタサイクルを展開するなど、安全に自転車で楽しめるまちになれば、幅広い世代が市内で楽しめるのではないか。
- ・地域や各分野で定例的に行われるイベントを河川敷で開催することで、新たなにぎわいが生まれる可能性があると思う。

#### (2) 第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定案について

- ・温室効果ガスの削減量等は個別計画で整理されると思うので改定案の内容でよいと思う。
- ・企業活動を対象とする環境分野の計画の策定数も参考になると思う。